
バベロンガール

七色ちきん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

バベロンガール

【Nコード】

N7487K

【作者名】

七色ちきん

【あらすじ】

赤頭巾ちゃんパロ。

赤頭巾ちゃんのヒーローは狩人だよね、という思想の文。

赤い頭巾をかぶった少女だった。

とてもきれいな娘だった。

しかし馬鹿な娘だと、獵師は思った。

「これで君を狼の腹の中から掬い上げるのは何回目だろう。」

獵師は訊ねた。

「さあ。何回目かしら。」

娘は答えた。

「一体君は何回狼に騙されれば気が済むんだ？」

「なんどでも。」

娘は微笑んでいる。

その娘の表情を見るのも、これで何回目だろうか。

猟師にももうわからない。

いつも同じ繰り返し返し。しかし、今日に限って猟師は、娘を問い詰める気になった。

いい加減この単調な繰り返しに終止符を打ちたかったのかもしれない。

「一体君は、なんで狼に食われるつもりだ？」

痛みがないわけじゃないだろう。

食われる瞬間は恐ろしいだろう。

肉をちぎられるのは痛いだろう。」

君のおばあさんだって、狼に食われたくはないだろう。

狼だって何度も私に腹を裂かletakはないだろう。

娘は私を見て微笑んだ。

笑うと一層その美しさが際立つ。

そして外見同様蠱惑的な声音で娘は言葉を紡ぐ。

ねえ、バベルの塔って知ってる？

むかし、むかし。人間はたかいたかい塔を造ろうとしたの。

天国まで届くような。

神様のところへ届くような塔を造ろうとしたことがあったの。

ねえ、考えてみて？空を見てみて？神様がみえる？

ここから、私達の曾曾曾もーつと曾御婆さまや御爺さまは神様に会いに行こうとしたのよ？

ねえ、どうしてだと思っ？

思い上がったたんだろ。人は、なんでもできると。

ちがうわ。

きつと、人だつてわかつた。神様のところへまで塔はつづかないつて。

ではなぜ人は塔を積み上げ続けたんだ。

無理なら、やめればよかつた。

やめるわけにはいかなかった。

だって、バベルの塔は、神様へのラブレターだったんだもの。

人は、さびしかったのよ。

ほんとうなら神様に愛されてエデンの園で幸せにくらしているはずだったのに。

たった一度の過ちで神様から愛されなくなってしまったのがとてもとても寂しかったのよ。

だから塔をたてた。神様にも見えるように。

ほら、無人島ではSOSって砂浜に書いたり、のろしをあげたりするでしょう？

それとおなじよ。

人は、きづいてほしかった。神様に。

神様、ごめんなさい。神様、もう一度チャンスをください。神様、私達を愛してください。

・・・ばかな。

ばかなことなんかじゃない。人は自分の生に意味を求める唯一の動物だもの。

だれかに愛されるってことは、一番簡単で一番強く、自分の意味を感じられることだもの。

人はみんな、愛されたくってしょうがないの。

だから王様がいるのよ。首相がいるのよ。社会には必ずリーダーがいるの。

なにを言ってるんだ。

王様は偶像よ。神様に愛されなかったから王様に愛してもらうの。

王様が人を愛してあげたら、今度は人が王様を愛してあげるの。

みんな、自分の意味を与えられながら、人に意味を与えてる。

そうしないと足元がくずれてしまうものね。

きみは。

でも、私は王様よりも、御婆さまよりも、母さまよりも。

あなたに愛してほしいの。

あなたは、あと何回狼の腹を裂いたら私のことを見てくれるのかしら。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7487k/>

バベロンガール

2010年10月12日03時09分発行